



B.E.11 「～するとよい」「～しなければならない」

- 1 You **should** go to this exhibition. ▶ この展覧会に行くといいよ。
 2 You **must** see these pictures. ▶ これらの絵は見ておかないといけないよ。

Notes

「～するとよい、～すべきである」は **should** を、「～しなければならない」は **must** を用いて表します。 **must** のほうが、**should** よりも意味が強くなります。

- ▶ 「～しなければならない」は 〈**have to**〉 を用いて表すこともできます。
 I **had to** wake up early *yesterday*. [過去を表す場合は×**must**]
 ▶ **must not** [**mustn't**] は「～してはいけない」[禁止]、〈**do not** [**don't**] **have to**〉は「～しなくてもよい」[不必要]の意味になります。

Let's Check It! 11 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) The movie is good. You () () it. [見たほうがいいよ]
 (2) The movie is great. You () () it. [見ないといけないよ]
 (3) You () () () the staff room today. [入ってはいけない]

B.E.12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

- 3 Tom **may have arrived** there early. ▶ トムはそこに早く着いたのかもしれない。
 4 He **must have enjoyed** the exhibition. ▶ 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
 5 We **should have visited** it last week. ▶ 私たちは先週そこを訪れるべきだった。

Notes

過去のことにについて、「～だった[した]にちがいない／かもしれない」と推量する場合は〈**must** [**may**] + **have** + 過去分詞〉で表します。また、〈**should** + **have** + 過去分詞〉は、「～すべきだったのに」と過去のことにについての後悔などを表します。

- ▶ Sam was with us last night, so you **can't have seen** him at the station.
 [～したはずがない]

Let's Check It! 12 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) Saya () () () a cold. [かぜをひいていたのかもしれない]
 (2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping.
 [眠っていたにちがいない]
 (3) I () () () more money by now. [ためておくべきだった]